



Fw: 東北 Fan Meeting

100年続く ぶどう生産から描く 地域のブランドづくり

参加費
無料

定員
30名

主催
復興庁



イラストテーマ：地場産業の再生・継承

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

8 働きがいも
経済成長も



15 陸の豊かさも
守ろう



日時

2019
12/5 (木)
19:00~21:00

場所

3331 Arts Chiyoda

東京都千代田区外神田6丁目11-14

【最寄り駅】

- ◆東京メトロ銀座線 末広町駅 4番出口 徒歩1分
- ◆東京メトロ千代田線 湯島駅 6番出口 徒歩3分
- ◆都営大江戸線 上野御徒町駅 A1番出口 徒歩6分
- ◆JR 御徒町駅 南口 徒歩7分

当日はシャインマスカットスムージーの試食の提供を予定しています。
申込はお早めに！

参加申込

下記URLよりお申し込みください。
<https://ux.nu/sQBqS>



◆Fw:東北 ホームページ
<https://www.fwtohoku.com>



◆フェイスブックページ
@fwtohoku



100年続くぶどう生産から描く地域のブランドづくり

日時 2019.12.5 (木) 19:00~21:00 (開場 18:30) 場所 3331 Arts Chiyoda

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS2030年に向けて
世界が共通した
「持続可能な開発目標」です8 働きがいも
経済成長も15 陸の豊かさも
守ろう

企画趣旨

宮城県亶理郡山元町の田所食品は、古くから一貫してぶどうの生産から、ぶどう液と呼ばれるジュースの加工、販売を続けることで、地元が誇る百年企業として栄えてきました。

しかし東日本大震災で、自宅や工場、ブドウ園すべてを失い、ぶどうの生産は一からやりなおしになりました。そして昨年、震災から7年かけてようやく、生食用のぶどうが収穫できるようになり、ぶどう液の復活のみならず、ぶどう狩りや山元町のふるさと納税の返礼品、アンテナショップ開設、果樹のオーナー制度など、次々と新たな取り組みにチャレンジしています。

自社のぶどうの復活だけではなく、山元町全体を多くの人に知ってもらい、足を運んでもらえるようになりたいと語る田所代表。被災地域での農業および6次化の復活が、地域全体の活力を生み、外部の人々にも関わりを増やすための道を拓くには、どのような取り組みが必要でしょうか。

今回のFw:東北Fan Meetingは、地元根差している百年企業とともに地域のブランディングを目指す活動を、参加者のみなさんと描きます。

登壇者 ※順不同/敬称略

◆ 田所 大樹 (田所食品株式会社 代表取締役)

プログラム(予定)

19:00	開会メッセージ/趣旨説明
19:05	インプットトーク 「百年企業がかかるぶどうと地域への思い」(仮) 田所食品株式会社 代表取締役 田所 大樹 氏
19:35	ミニアイデアソン 「田所食品とのコラボで 人々を山元町に呼び込むには」
20:15	発表タイム
20:25	登壇者コメント
20:30	Fw:東北活動紹介
20:35	閉会メッセージ/集合写真撮影
20:40	交流タイム(~21:00)

こんな方にオススメ!

- ・ 農業分野での復興活動に関心のある方
- ・ 農産物の6次化に関心のある方
- ・ 地域資源を活用した新事業創出に興味のある方
- ・ その他、本イベントに関心のある方 等

Fw:東北とは

「Fw:東北」は「進む」の意味を「フォワード」に置き換えた東北における共創によるプロジェクト全体の愛称です。被災地復興及び地域課題の解決に取り組んでいるNPO、企業、自治体等が、自らの取組を加速・発展させるため、共創の手法を通じて、新たなパートナーとのつながりを創出し、地域社会の課題解決を目指していきます。

Fw:東北 Fan Meetingとは

「Fw:東北 Fan Meeting」では、復興庁、「新しい東北」官民連携推進協議会による、「Fw:東北」の取組、プロジェクトを紹介し、東北で様々なテーマを掲げて行われている活動や、それらに取り組む人々にフォーカスを当て、認知向上や共創の輪を広げる活動として、各種イベントを、東京や東北各地で多数展開(年間23本程度を予定)します。